

第3回特別展

尼崎市指定文化財の 精華



前期 令和5年(2023)

10月1日(日) ▶
11月30日(木)

後期 前期と出展作品は異なります

令和6年(2024) 1月6日(土) ▶ 3月24日(日)

■開館時間 午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで

■休館日 月曜日

(ただし祝日の場合は開館し、直後の平日が休館)

■会場 尼崎市立歴史博物館 3階
企画展示室

■観覧料金 無料



電車・バス ▶ [阪神尼崎駅]
南口から南東へ徒歩10分
車 ▶ 玉江橋線開明橋
交差点から東へ約500m
隣接する市立城内駐車場
(有料)をご利用ください



尼崎市立歴史博物館
AMAGASAKI CITY MUSEUM OF HISTORY

〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2

電話 06-6489-9801

(歴史博物館文化財担当)

FAX 06-6489-9800



- [前期] ①毘沙門天立像(白衣観音寺蔵)
②延宝頃尼崎城下絵図(實布禰神社蔵)
③流水文銅鑿(本興寺蔵) ④絹本着色涅槃図(長遠寺蔵)
- [後期] ⑤皇臣秀次朱印状(当館蔵)
⑥熊谷直実・平教盛図(長洲天満神社給馬)(当館蔵)

尼崎市指定文化財の 精華



十一面観音菩薩立像(治田寺蔵)



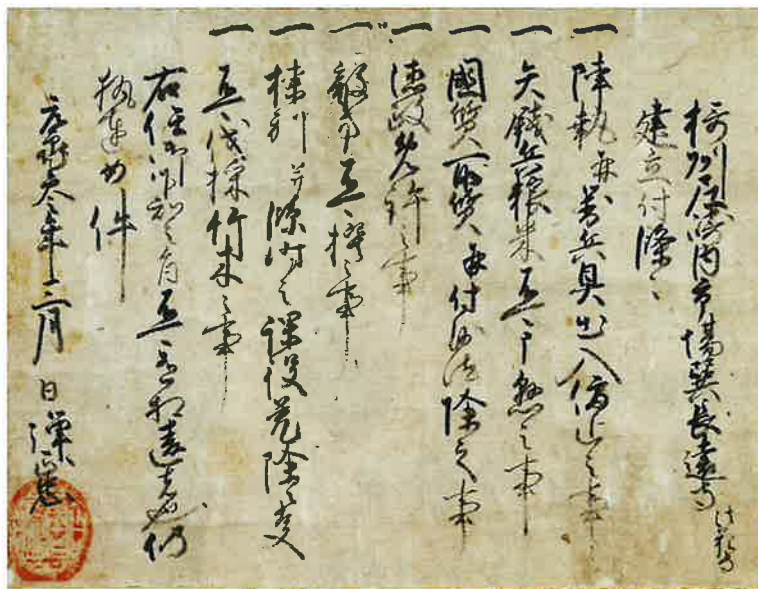
紙本着色浄光寺縁起図(浄光寺蔵)

昭和58(1983)年3月、前年に制定された尼崎市文化財保護条例に基づき、長遠寺所蔵の絹本着色涅槃図等5件の文化財が、同年に新たに設置された尼崎市文化財保護審議会での調査・審議を経て、初めて尼崎市指定文化財に指定されました。以来、毎年のように市指定文化財は増え続け、総数は59件、指定後、兵庫県指定文化財に指定された4件をのぞくと55件にまで増加しています。これら市指定文化財は、市内の寺院・神社や個人のほか、尼崎市が所蔵しており、歴史博物館では市ホームページでその概要を紹介しています。

本年は、尼崎市指定文化財第1号が指定されてからちょうど40年になります。そこで、これを記念して、これまで一堂に会することがなかった市指定文化財について、前期は普段は目にする機会が少ない寺院や神社に所在する文化財、後期は歴史博物館が所蔵している文化財を展示し、尼崎市は豊富な文化財が現存し、長い歴史を有するまちであること広く紹介します。



豊臣秀吉木像菊桐紋蒔絵厨子(宝樹院蔵)



織田信長禁制(長遠寺文書)(長遠寺蔵)

記念講演会

「尼崎の仏教美術 - 指定品を中心に -」

日時：11月5日(日) 午後2時～午後3時30分

講師：長谷 洋一 氏(関西大学文学部教授)

会場：尼崎市立歴史博物館 3階 講座室

申込：10月5日(木)から電話・FAXで受付

受講料：無料

定員：90名(先着順)

ギャラリートーク

日時：10月7日(土)、10月28日(土)、11月12日(日)、

11月18日(土) 各日午後2時～午後3時

会場：尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室

参加料：無料 申込：事前申込み不要

定員：各20名(先着順)

同時開催

わがまち誇りの指定文化財写真展

期間：令和5年(2023)10月1日(日)～令和6年(2024)3月24日(日)

会場：尼崎市立歴史博物館 3階 展示学習室 観覧料金：無料